



CLEANING HOSE HOUSING CONTAINER

What is claimed is:

A cleaning hose housing container, wherein in a housing container in which an opening for taking out the cleaning hose opens outwardly, and a reel drum is provided so as to freely rotate with its axis line as the center, and a cleaning hose is reeled onto the reel drum so as to be freely reeled in and/or reeled out, and the reel drum is configured so as to freely rotate around an axis line located perpendicular to the aforementioned axis line of the reel drum.

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U)

昭54—122278

⑬Int. Cl.²
B 65 H 75/34

識別記号 ⑭日本分類
54 B 0

庁内整理番号 ⑮公開 昭和54年(1979)8月27日
6818—3F

審査請求 有

(全 1 頁)

⑯洗浄ホースの収納容器

習志野市西習志野 1—9—26

⑰実 願 昭53—19410

⑱出 願 人 タイキ工業株式会社

⑲出 願 昭53(1978)2月17日

東京都千代田区神田紺屋町43番
地

⑳考 案 者 浦城勝

㉑代 理 人 弁理士 西島綾雄

㉒実用新案登録請求の範囲

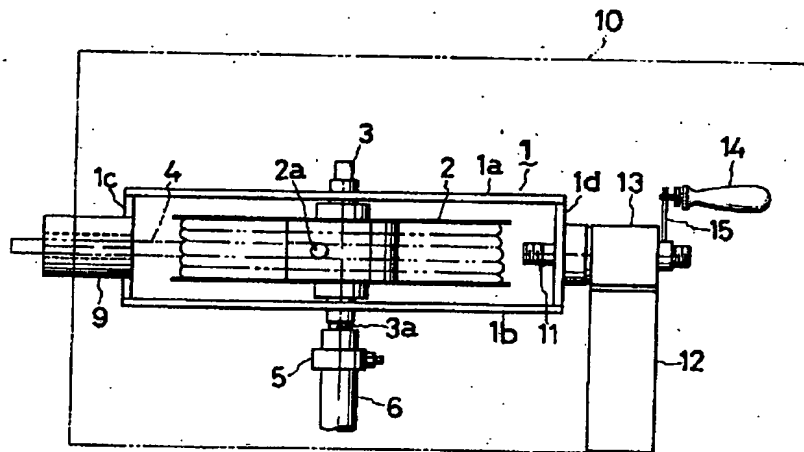
洗浄ホース取り出し口が外方に向けて開口する
収納容器内に、巻回ドラムをその軸線を中心と
して回転自在に配設し、この巻回ドラムに洗浄ホ
ースを巻き取り、送り出し自在に巻回するとともに、
前記巻回ドラムを、前記巻回ドラムの軸線に対し
て直角に位置する軸線を中心として回転自在に構
成したことを特徴とする洗浄ホースの収納容器。

図面の簡単な説明

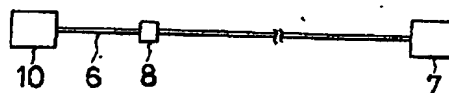
図は本考案の一実施例を示し、第1図は収納容
器の内部を示す正面図、第2図は収納容器と給水
ポンプ装置との連繋関係を示す概略図である。

1……支持枠、2……巻回ドラム、3……回転
軸、4……洗浄ホース、9……洗浄ホース取り出
し口、10……収納容器、11……回転軸、14
……ハンドル。

第1図



第2図





実用新案登録願

昭和53年 2 月 17 日

特許庁長官 熊谷善二 殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} 洗浄ホースの収納容器

2. 考案者

^{フリガナ} 住所 千葉県船橋市西習志野 1-9-26
^{フリガナ} 氏名 浦城勝

3. 実用新案登録出願人

^{フリガナ} 住所 東京都千代田区神田紺屋町 4 3 番地
^{フリガナ} 氏名 (名称) タイキ工業株式会社
(国籍) 代表者 浦城勝

4. 代理人 〒150 電 462-5726

住所 東京都渋谷区道玄坂 2-10-12
氏名 新大宗ビル 3 号館 435 号室
(6775) 弁理士 西島 稜 雄

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1通
(3) 願書副本 1通

(2) 図面 1通
(4) 委任状 1通

53 019410

54-122278
特許庁
登録

○ 明 細 書

1. 考 案 の 名 称

洗 浄 ホ ー ス の 収 納 容 器

2. 実 用 新 案 登 録 請 求 の 範 囲

洗 浄 ホ ー ス 取 り 出 し 口 が 外 方 に 向 け て 開 口 す る 収 納 容 器 内 に、 巻 回 ド ラ ム を そ の 軸 線 を 中 心 と し て 回 転 自 在 に 配 設 し、 こ の 巻 回 ド ラ ム に 洗 浄 ホ ー ス を 巻 き 取 り、 送 り 出 し 自 在 に 巻 回 す る と と も に、 前 記 巻 回 ド ラ ム を、 前 記 巻 回 ド ラ ム の 軸 線 に 対 し て 直 角 に 位 置 す る 軸 線 を 中 心 と し て 回 転 自 在 に 構 成 し た こ と を 特 徴 と す る 洗 浄 ホ ー ス の 収 納 容 器。

3. 考 案 の 詳 細 な 説 明

本 考 案 は 排 水 管 内 を 洗 浄 す る た め の 洗 浄 ホ ー ス を 収 納 す る 容 器 に 関 す る。

従 来 の 洗 浄 ホ ー ス は、 こ れ を 収 納 す る 容 器 が 存 在 し な か っ た た め、 排 水 管 内 を 洗 浄 し た 後 は 汚 物 が 付 着 し た 状 態 の ま ま で 室 内 を 持 ち 運 び し な け れ ば な ら ず、 そ の た め 室 内 が 汚 れ て し ま う と い う 欠 点 を 有 し て い た。 本 考 案 は、 こ の 欠 点 を 克 服 す る と と も に、 排 水 管 の 洗 浄 作 業 に 適 す る よ う 構 成 さ

○れたものであり、その特徴とするところは、洗浄ホースを、収納容器内に回転自在に配設した巻回ドラムに巻回するとともに、巻回ドラムをこの軸線と直角に位置する軸線上で回転自在とするよう構成したところにある。

以下添付図面に基づいて、本考案の一実施例につき詳細に説明する。

第1図において、1は上下両板1a, 1bが平行に設けられた支持枠であり、これの上下両板1a, 1b間には巻回ドラム2が軸3によって回転自在に支持されている。この軸3は、その下端部3aと前記巻回ドラム2に透設された洗浄ホース4の端部挿入固定用の透孔2aとが連通すべく中空状に形成されている。前記軸3の下端部3aには給水ホース取り付け部5が取り付けられており、第2図に示す如く、^{（10544A）}
 によって給水ホース6
 ここに取り付けられる給水ホース6を介して巻回ドラム2に巻回される洗浄ホース4は給水ポンプ装置7に連通されている。この給水ホース6は着脱部8のワンタッチ操作によって給水ポンプ装置7との連通関係が接断されるも

○のである。9は前記支持枠1の側板1cに設けられた円筒状の洗浄ホース取り出し口であり、収納容器10の前端面に回転自在に支持され収納容器10の外方に向けて開口している。この収納容器10の後端面は蝶番等適宜機構によって開閉自在に構成されている。11は前記洗浄ホース取り出し口9の軸線延長上に軸線が位置すべく前記支持枠1の側板1dに固定した回転軸であり、収納容器10の底部に垂設された支持脚12に取り付けられた支持体13に回転自在に支持されている。14はハンドルであり、前記回転軸11と連杆15を介して連繋している。

本考案は以上の如く構成したから、収納容器10後端面を開放し、洗浄ホース取り出し口9から洗浄ホース4を送り出しながらハンドル14を回転すると、巻回ドラム2が回転軸11と洗浄ホース取り出し口9との軸線を結ぶ軸線を中心として回転する支持枠1とともに回転することによって、洗浄ホース4を回転しつつ送り出すことができるものである。したがって、内径が狭く、複雑に配

○ 管された排水管内部にも、円滑に送り込むことができ、能率良く有効な洗浄を行うことができるものである。また、洗浄後には、収納容器10の後端面を開放して巻回ドラム2を手でもって巻き取り方向に回転すれば、汚物が付着した洗浄ホース4は巻回ドラム2に巻回され、収納容器10後端面を閉鎖することによって、室内等、収納容器10の外部は汚れることがないものである。

なお、巻回ドラム2の回転軸3を容器10外部から回転操作しうるよう構成すれば、洗浄ホース4の巻き取り操作は一層容易になる。

また、ハンドル14は容器10外に位置するよう設けても良く、さらに、巻回ドラム2をその軸線と直角方向な軸を中心に回転させる構成は前記実施例に限定されるものではない。

このようにして本考案によれば、洗浄ホースを、室内を汚すことなく洗浄後の処理が行なえらるとともに、洗浄行為も円滑になしうるため、その実用上の有用性は多大なものがある。

4. 図面の簡単な説明

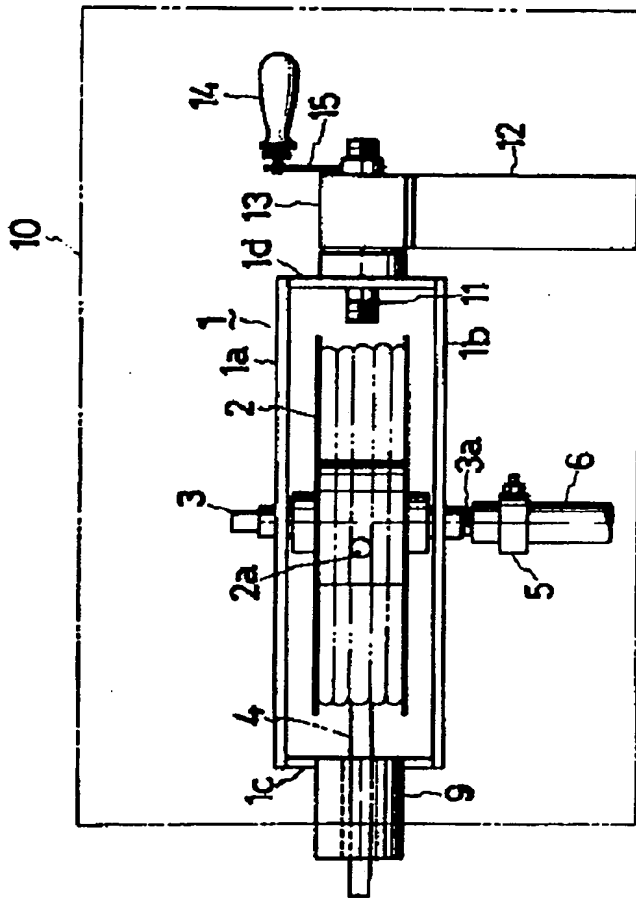
- 図は本考案の一実施例を示し、第 1 図は収納容器の内部を示す正面図、第 2 図は収納容器と給水ポンプ装置との連繋関係を示す概略図である。

1 . . . 支持枠 2 . . . 巻回ドラム
3 . . . 回転軸 4 . . . 洗浄ホース 9 .
. . 洗浄ホース取り出し口 10 . . . 収納容
器 11 . . . 回転軸 14 . . . ハンドル。

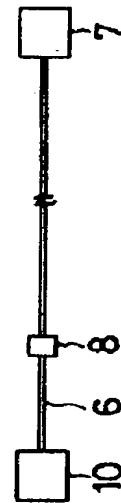
実用新案登録出願人 タイキ工業株式会社

代理人 弁理士 西 島 綾 雄

第 1 図



第 2 図



BEST AVAILABLE COPY